

海軍公報 (部内限) 第二千八百四十九號

海軍大臣官房

昭和十三年三月一日(火)

○令 達

官房第九七六號

昭和十二年官房第四三六八號中左ノ通改正ス

昭和十三年三月一日

海軍大臣

第二類在役艦船ノ項中「及練習艦隊」ヲ削ル

官房機密第一〇七四號

昭和十三年三月一日

海軍大臣

内令提
要登載

各鎮守府司令長官殿

練習艦艇配當ノ件中改正ノ件訓令

昭和十二年官房機密第四九三八號別表中左ノ通改正ス
海軍砲術學校乃至海軍航海學校ノ部中「呂號第五十八
潜水艦」ヲ「第九潜水艦」ニ改メ海軍潜水學
校ノ部中「第二十潜水隊」ノ下ニ「第十一水雷隊」

海軍公報 (部内限) 第二千八百四十九號

昭和十三年三月一日

一一三

ヲ加フ

(昭和十二年十二月二日本欄参照)

○辭 令

海軍航空本部 造兵監督官 海軍中佐 下山 二郎

東京監理官ヲ免シ名古屋監理官ヲ命ス(兼海軍省)

海軍艦政本部 造船監督官 海軍造機大佐 坂口 礫三

東京監理官ヲ免シ神戸監理官ヲ命ス

海軍艦政本部 兼造船監督官 海軍技師 濱田 善治

東京監督官ヲ命ス(請同)

軍令部出仕海軍大佐 松田 千秋

第一部勤務ヲ命ス

同 海軍大尉 塚本 昇

第四部第十課勤務ヲ命ス

臨時軍令部出仕海軍中尉 日野 虎雄

第三部第六課勤務ヲ命ス(以上海軍省)

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第二潜水戰隊司令官ハ二月二十八日旗艦ヲ五十鈴ヨリ阿武隈ニ變更セリ

○ 將旗移揚
佐世保防備戰隊司令官ハ二月二十二日將旗ヲ佐世保防備隊ヨリ呂號第六十三潜水艦ニ移揚シ二月二十四日佐世保防備隊ニ復歸セリ

○ 郵便物發送先
第二航空戰隊司令部、軍艦蒼龍宛
自三月六日迄ニ到達見込ノモノハ
至同 二十日
其ノ後ハ 鹿兒島縣志布志
第二艦隊司令部ニ同ジ

○ 事務所移轉
高雄海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ヲ二月二十一日高雄州岡山郡彌陀庄ニ移轉セリ

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○三月一日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、沖島、▽長門△、春日、▽八雲、高雄

呂六六△、伊七

▽掃六、掃五、掃二△

富士△、尻矢△、膠州

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】▽太刀風、夕風、帆風、▽松風、春風、朝風、

旗風、沖風、▽夏雲、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、呂五八

羽風△

【石川島】

秋風△

(霞)△

【館山】

澤風

【大湊】

▽神風、波風、野風

【室蘭】

沼風

矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△、扶桑、

淀、▽加古、勝力、最上、▽名取、夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、

▽浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、▽伊五三、

伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、

▽伊七二、伊七三、伊五五、▽呂三四、

呂三三

攝津

(千歲)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

常磐△

石廊△

平戸、淺間

隱戸

【江田内】

陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、

鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨

夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、

有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五

大井

▽雉、雁、鳩、鷺

吾妻△、八重山△

吹雪△、▽白雪、皐月

伊五二

(箴)△

海軍公報(部内限) 第二千八百四十九號

昭和十三年三月一日

二一五

【佐世保】

赤城△榛名、羽黒、那智、北上、鷲手、龍田△
梨△竹△榎△桃△柳△檜△重△
朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽文月、
水無月、▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽疾風、
追風、峯風

呂三〇△、呂三一△、呂三二△、呂六〇△

呂六一△、呂六二△、呂六六△、呂六五△

伊六三△、呂六八△、伊六五△、伊六六△

伊六七△、伊二二

敷島△、早瀬、間宮、鶴見

(伊七四)△

【長崎】(利根)△

【有明灣】▽鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、
▽阿武隈、▽蒼龍

▽朧、曙、湖、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、
薄雲、叢雲、東雲、▽陸月、卯月、

伊六三△、伊五九△、伊六〇△、伊六一△、
伊六二△、伊六四△、伊七〇△、伊六八△、
伊六九

【鎮海】▽葦、楡、柿

【作業地】▽出雲、▽天龍、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、
白鷹、▽足柄、嚴島、駒橋、▽球磨、
▽能登呂、▽妙高、多摩、▽長良、▽神威、
▽龍驤、加賀

【航海中】

五十鈴 (二月二十八日有明灣發—横須賀—)

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山—)

掃一、掃三、掃四 (一日横須賀發—横濱—)

栗、梅、蓮、▽雷、電、響、▽曉、狹霧、
漣、▽薄、藤、葛、▽芙蓉、朝顔、刈萱、
▽菊月、夕月、望月、三月月、▽蓼、菱、蓬、
▽島風、灘風、沙風、如月、彌生、矢風、
山雲、長月
伊二一、伊二三、伊二四
▽初雁、友鶴、千鳥、真鶴、隼、▽鶴、鴨、
鴻
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
▽朝日、室戸、襟裳、知床、洲崎、野島、
鳴戸

(辭令公報添)

海軍公報(部内限)第二千八百五十號

昭和十三年三月二日(水)

海軍大臣官房

○通牒

官房機密第一一一一號

昭和十三年三月二日

海軍省副官

各 應 長 殿

在外武官宛書類、物品發送方ノ件申進

首題ノ件左記ニ依リ處理ノコトニ定メラレ候條御了知
相成度

記

一、在英、米、佛、獨、伊、土、暹、加、墨、亞館附
武官、在蘭武官、在紐育監督長宛

(イ) 機密書類、物品

發送手續ハ海軍大臣官房ニ於テ之ヲ爲スニ付該當
ノモノアルトキハ其ノ種類、寸法、數量、内容ヲ
記載セル書類ヲ添ヘ現品ヲ官房ヘ送付ノコト
但シ軍令部、海軍艦政本部、海軍航空本部ニ在リ

テハ官房機密第三五〇號照會ニ依リ、在京各廳(軍
令部、艦政本部、航空本部ヲ除ク)ニ在リテハ官
房機密第三五〇號ノ二申進ニ依リ處理ノコト

(ロ) 普通書類、物品

正規ノ手續(關稅、運賃ヲ支拂フ)ニ依リ郵送ス
ルカ又ハ正式ノ貨物トスルコト

但シ在歐館附武官及同駐在員等ニ對スルモノハ總
テ印度洋經由又ハ米國經由トシ蘇聯通過トセザル
コト

二、在蘇館附武官宛

機密書類、普通書類共發送手續ハ海軍大臣官房ニ於
テ之ヲ爲スニ付該當ノモノアルトキハ官房ヘ送付ノ
コト

軍需機密燃第二九號

昭和十三年三月一日

海軍省軍需局

關係各應御中

海軍公報(部内限)第二千八百五十號

昭和十三年三月二日

二一七

燃料受込消費額ノ件照會

昭和十二年軍需機密燃第一六三號照會(同年九月二十五日本欄參照)首題ノ件ハ今次事變ニ參加セル艦船部隊及特設艦船部隊ノミニ對スルモノナルニ付左記ノ諸點參照ノ上漏ナク通報方取計相成度

左記

- 一、消費額調ニ對シテハ中途ヨリ事變ニ參加セル場合或ハ中途ヨリ除カレタル場合ハ記事欄ニ共ノ旨記入ノコト
- 二、陸上部隊附屬ノ特務艇雜役船ニシテ事變地ニ派遣セラレ又ハ事變關係任務ニ服シタル場合ハ記事欄ニ明記スルコト
- 三、航空隊ニ於ケル訓令ニ依ル對事變特別教育用燃料ハ豫算内事變用トシテ整理ノコト
- 四、在事變地航空隊軍需部間ノ空中輸送用燃料ハ事變用ニ含マスルコトナク別行ニ記入ノコト

○辭令

海軍航空本部 造兵監督官 海軍技師 名田 清
東京監理官ヲ命ス

(各通)

甘濃 益三郎
佐藤 喜一郎
矢吹 敬一
山中 喜一
杉坂 富之助
山崎 水哉
岸本 廣吉

臨時海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限委任官待遇トス(以上請海軍省)

○雜款

○郵便物發送先

第三十驅逐隊(陸月、卯月)宛

自今

驅逐艦彌生、如月宛

當分ノ間(從前通)

第二航空戰隊ニ同ジ

佐世保局氣付

第十一水雷隊宛

三月 六 日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

同 九 日迄ニ 同 山口縣新港

其ノ後ハ 吳

○懲罰

1594

懲罰言渡書

海軍公報(部内限) 第二千八百五十號 昭和十三年三月二日

二二九

○艦船所在

指[▲]定[▲]ヲ[▲]要[▲]セ[▲]ズ

○三月二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、沖島、長門▲、春日、五十鈴、八雲、高雄

呂六六▲、伊七

掃六、掃五、掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州

(飛龍)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】 大刀風、夕風、帆風、松風、春風、朝風、旗風、沖風、夏雲、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八

【石川島】

羽風▲

【横濱】

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

秋風▲

【館山】

澤風

【大湊】

大泊

【室蘭】

沼風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、加古、勝力、最上、名取、夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、初雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂三八、伊五二▲、伊七一▲、伊五三、

伊五四、伊五七、伊五六、伊五八、

伊七二、伊七三、伊五五、呂三四、

呂三三

攝津

(千歲)▲、(千代田)▲

古鷹▲

(拳雲)▲

呂六四▲

(朝雲)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

常磐▲

石廊▲

平戸、淺間

【江田内】

大井

【佐伯】

吾妻▲、八重山▲

吹雪▲、白雪、皐月

伊五二

(笹)▲

【佐世保】 赤城▲、榛名、羽黑、那智、北上、磐手、龍田▲

梨▲、竹▲、樞▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、夕風、

朝風、若葉、初霜、子日、初春、文月、

水無月、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

海軍公報(部内限) 第二千八百五十號 昭和十三年三月二日

【長崎】(利根)△

呂六一△、呂六二△、呂六六七、呂六五、
呂六三、呂六八、呂六五、伊六六、
伊六七、伊二二
敷島△、早瀬、鶴見、襟裳
(伊七四)△

【鎮海】△、楡、柿

【作業地】△出雲、△天龍、△安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、△木曾、
白鷹、△足柄、嚴島、駒橋、△球磨、
△能登呂、△妙高、多摩、△長良、△神威、
△龍嶽、加賀

栗、榊、蓮、△雷、電、響、△曉、狹霧、
漣、△薄、藤、蕙、△芙蓉、朝顔、刈萱、
△菊月、夕月、望月、三日月、△麥、菱、蓬、
△島風、灘風、汐風、如月、彌生、△疾風、
追風、山雲、長月

△伊二一、△伊二三、伊二四
△初雁、友鶴、千鳥、真鶴、隼、△鶴、鴨、
鴻

△掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
△朝日、室戸、知床、洲崎、野島、鳴戸

【航海中】

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山へ)

△陸奥、伊勢、日向、△霧島、金剛、△那珂、鬼怒、
山良、△川内、△迅鯨、△夕立、五月雨、村雨、
春雨、△白露、時雨、有明、夕暮、△江風、山風、
海風、涼風、△伊一、伊二、伊三、△伊六、伊四、
伊五 (一日宿毛發—鹿兒島へ)

△島海、摩耶、△熊野、三隈、鈴谷、△神通、△阿武隈、
△若龍、△龍、曙、潮、△天霧、朝霧、夕霧、△白雲、
薄雲、叢雲、東雲、△睦月、卯月、△伊六三、
伊五九、伊六〇、△伊六一、伊六二、伊六四、
△伊七〇、伊六八、伊六九 (一日有明灣發—別府灣

△神風、波風、野風 (一日大湊發—津輕海峽へ)
矢風 (一日作業地發—豊後水道へ)
隠戸 (一日徳山發—佐世保へ)
問宮 (一日佐世保發—鹿兒島灣へ)

(辭令公報添)

(限 内 部)

1597

海軍公報

(部内限) 第二千八百五十一號

昭和十三年三月三日(木)

海軍大臣官房

○ 辭 令

關東局屬	川淵 漸
同	坂 幸藏
同	岡崎 清一
關東局土木書記	植木 秀孝
同	阿部 龜久治
同	末久 英一
關東局技手	杉浦 義高
同	大淵 三千代
同	小黒 良雄
同	森 清治郎
旅順要港部ニ於ケル事務ヲ囑託ス <small>(任命海軍省)</small>	
通信書記	田中 三次郎
同	中野 本之
同	井上 眞一
同	小森 良一

海軍省事務ヲ囑託ス(任命海軍省)

同	種子島 爲春
同	山口 操

○ 雜 款

○ 特務艦隱戶行動豫定變更(二月二十三日 本欄参照)

地名	着	發
德山	三月二日	三月一日
佐保山	三月四日	三月三日
德山	三月六日	三月五日
吳山	三月九日	三月八日
德山	三月十四日	三月十三日
橫須賀山	三月十九日	三月十六日
吳山	三月二十一日	三月二十日

○ 郵便物發送先
軍艦五十鈴宛
自今

横須賀

海軍公報 (部内限) 第二千八百五十一號

昭和十三年三月三日

二三三

特務艦白沙宛

自今

三菱重工業株式會社

横濱船渠機裝員事務所

○郵便物發送先變更(三月二十三日)

特務艦隱戸宛

三月	四	日迄ニ到達見込ノモノハ	徳	山
同	八	日迄ニ	吳	
同	十五	日迄ニ	横	須
同	十九	日迄ニ	徳	賀
其ノ後ハ			吳	山

○書類發送先

當隊任務ノ關係上各艦分離行動中ニ付郵便物ハ佐世保局氣付トシ自今左記ニ依リ御送付ヲ得度

追而左記宛ノ書類ニシテ各艦ニ關係アルモノハ寫一通各艦別ニ送付相成度

記

司令宛ノモノハ	曉
機關長宛ノモノハ	狹霧
軍醫長宛ノモノハ	漣
主計長宛ノモノハ	

(第十驅逐隊)

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○三月三日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、沖島、長門▲、春日、五十鈴、高雄

呂六六▲、伊七

掃六、掃五、掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】 大刀風、夕風、帆風、松風、春風、旗風、

夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八

【石川島】

羽風▲

【横濱】

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

秋風▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

大泊

【室蘭】

沼風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、加古、勝力、最上、名取、夕顔、若竹、吳竹、早苗、菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、初雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、伊五三、

伊五四、伊五七、伊五六、伊五八、

伊五五 呂三四、呂三三

攝津

(千歳)▲(千代田)▲

古鷹▲

(峯雲)▲

呂六四▲

【神戸】 常磐▲ (朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

石廊▲

【相生】 常磐▲

【江田内】 平戸、淺間

【別府】 鳥海、摩耶、熊野、三隈、鈴谷、神通、阿武隈、蒼龍

薄雲、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、白雲、

伊六三、伊五九、伊六〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊七〇、伊六八、

伊六九

【佐伯】 大井

雌、雁、鳩、鷲

【舞鶴】 吾妻▲、八重山▲

吹雪▲、白雲

(龍)▲

海軍公報(部内限) 第二千八百五十一號 昭和十三年三月三日

【佐世保】

赤城、榛名、羽黒、那智、北上、磐手、龍田、
 梨、竹、榎、桃、柳、檜、重、夕風、
 朝風、若葉、初霜、子日、初春、文月、
 水無月、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風、
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
 呂六一、呂六二、呂六六、呂六五、
 呂六三、呂六八、伊六五、伊六六、
 伊六七、伊二二
 敷島、早鞆、鶴見、襟裳、隠戸
 (伊七四)

【長崎】

(利根)

【鹿児島灣】

陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、
 鬼怒、由良、川内、迅鯨
 夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、
 有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、
 伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五
 間宮

【鎮海】

葦、楡

【作業地】

出雲、天龍、安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、
 白鷺、足柄、嚴島、駒橋、球磨、
 能登呂、妙高、多摩、長良、神威、
 龍驤、加賀、
 栗、梅、蓮、雷、電、響、曉、狹霧、
 漣、薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、

【航海中】

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山へ)
 神風、波風、野風 (一日大湊發—津輕海峽へ)
 矢風 (一日作業地發—豊後水道へ)
 朝風 (二日横須賀發—因島へ)
 沖風 (二日長浦發—荒崎灣へ)
 伊七二、伊七三 (二日吳發—廣島灣へ)
 柿 (三日鎮海發—羅津へ)
 八雲 (三日横須賀發)

伊菊月、夕月、望月、三月月、麥、菱、蓬、
 島風、灘風、汐風、如月、彌生、疾風、
 追風、長月、皐月
 伊二、伊二三、伊二四、伊五二
 初雁、友鶴、千鳥、真鶴、雫、鶉、鴨、
 鴻
 掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 朝日、室戸、知床、洲崎、野島、鳴戸

海軍公報

(部内限) 第二千八百五十二號

海軍大臣官房

昭和十三年三月四日(金)

○令 達

官房機密第一一四三號

昭和十三年三月四日

海軍大臣

各鎮守府司令長官殿

下士官及兵服役延期ニ關スル件訓令

現ニ服役延期中ノ下士官、兵及昭和十三年四、五月現役満期トナルベキ下士官、兵ハ海軍武官服役令第三條第一項第一號、海軍志願兵令第十四條第一項第一號及兵役法第十九條第一項第一號ノ規定ニ依リ當分ノ間服役延期方取計フベシ

官房第一〇五四號

當分ノ間揚子江流域所在艦船部隊ニ要スル普通揮發油及輕油ハ上海駐在首席主計科士官ヲシテ購買セシメ佐世保海軍軍需部部員タル兵備品會計官吏ヲシテ之ヲ保管供給セシム

海軍公報(部内限) 第二千八百五十二號 昭和十三年三月四日

二二七

昭和十三年三月四日

海軍大臣

○辭 令

横須賀海兵團ニ於ケル齒科治療囑託

篠崎 寅雄

第五艦隊ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス
但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス(三十五海軍省)

○雜 款

○司令驅逐艦變更

第一驅逐隊司令ハ二月二十八日司令驅逐艦ヲ一時神風ヨリ沼風ニ變更セリ

第五驅逐隊司令ハ三月二日司令驅逐艦ヲ一時松風ヨリ朝風ニ變更セリ

第三十二驅逐隊司令ハ三月三日司令驅逐艦ヲ一時文月ヨリ長月ニ變更セリ

○特設運送船朝光丸行動豫定

地名	名	着	發
相生	須賀	三月三日	三月五日
神戶	保	三月七日	三月七日
佐保	世	三月九日	三月十二日
神戶	須賀	三月十三日	三月十五日
横須賀	賀	三月十八日	三月二十日
吳須賀	賀	三月二十三日	三月二十五日
佐保	世	三月二十六日	三月二十八日
鎮海	海	三月二十九日	三月三十一日

○事務所移轉訂正(三月一日日本欄參照)
高雄海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ヲ左記ニ移轉セリ

記

高雄州岡山郡彌陀庄

(高雄州岡山特別工事々務所内)

○本日普通公報發行セズ

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○三月四日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、▷長門△、春日、五十鈴、高雄

呂六六△、伊七

▽掃六、掃五、掃二△

富士△、尻矢△、膠州

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】▽太刀風、夕風、帆風、松風、春風、旗風、

▽夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△

呂五九△、呂五八

【石川島】

羽風△

【横濱】

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

沖島

秋風△

(霞)△

【館山】

澤風△

【大湊】

大泊

【室蘭】

▽沼風

【吳】

矢矧、韓崎、比叡△衣笠、青葉、長鯨△扶桑、

淀、▷加古、勝力、最上

夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、

▽浦波、磯波、敷波、綾波、初雪

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、▽伊五三、

伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、

▽伊七二、伊七三、伊五五、▽呂三四、

呂三三

攝津

(千歲)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

呂六四△

(朝雲)△(伊八)△(伊七五)△

常磐△

石廊△

平戸、淺間

矢風

【江田内】

【豊後水道】

【別府】

▽阿武隈、▷蒼龍

▽朧、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、

薄雲、叢雲、東雲、▽陸月、卯月

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、

伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、

伊六九

吾妻△、八重山△

吹雪△、▽白雪

(被)△

海軍公報(部内限) 第二千八百五十二號

昭和十三年三月四日

二二九

【佐世保】

赤城▲、榛名、羽黒、那智、北上、▽名取、龍田▲
 梨▲竹▲榧▲桃▲柳▲檜▲蕁▲▽夕風、朝風、▽若葉、初霜、子日、初春、▽長月、水無月、▽大潮、朝潮、滿潮、荒潮、▽呂三〇▲、▽呂三一▲、▽呂三二▲、▽呂六〇▲、▽呂六一▲、▽呂六二▲、▽呂六七、▽呂六五、▽呂六三、▽呂六八、▽伊六五、伊六六、伊六七、伊二二
 敷島▲、早朝、鶴見、襟裳
 (伊七四)▲

【長崎】

(利根)▲
 【鹿児島灣】▽陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨

▽夕立、五月雨、村雨、春雨、▽白露、時雨、有明、夕暮、▽江風、山風、海風、涼風、▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五 間宮

【鎮海】

▽葦、楡
 【作業地】▽出雲、▽天龍、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、白鷹、▽足柄、嚴島、駒橋、▽球磨、能登呂、▽妙高、多摩、▽長良、▽神威、▽龍驤、加賀、栗、梅、蓮、▽雷、電、響、▽曉、狹霧、

【航海中】

漣、▽薄、藤、葛、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽菊月、夕月、望月、三日月、▽麥、菱、蓬、▽島風、灘風、沙風、如月、彌生、▽疾風、追風、文月、皐月、峯風
 ▽伊二一、▽伊二三、伊二四、伊五二
 ▽初雁、友鶴、千鳥、真鶴、隼、▽鶴、鴨、鴻
 ▽掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八
 ▽朝日、室戸、知床、洲埼、野島、鳴戸

【航海中】

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山へ)
 神風、波風、野風 (一日大湊發—津輕海峽へ)
 ▽朝風 (二日横須賀發—因島へ)
 沖風 (二日長浦發—荒埼灣へ)
 ▽八雲 (三日横須賀發)
 磐手 (三日佐世保發)
 大井、▽雄、雁、鳩、鷺 (三日佐伯發—吳へ)
 柿 (三日鎮海發—羅津へ)
 隱戸 (三日佐世保發—吳へ)



1605

(限 内)

海軍公報 (部内限) 第二千八百五十三號

海軍大臣官房

昭和十三年三月五日(土)

○ 令 達

官房第一〇八一號 昭和十三年三月五日(土) 第一〇八一號ノ三ニテ本我廢止
 當分ノ間海軍會計規程第三十九條ノ規定ニ拘ラズ第五驅逐隊所屬驅逐艦朝風ノ經費支拂ノ爲同隊附主計科士官ヲ資金前渡官吏ト定ム

昭和十三年三月二日

海軍大臣

○ 通 牒

航本機密第一一九五號

昭和十三年三月四日

海軍航空本部長

佐世保 海軍工廠長
 廣 海軍航空廠長
 航空兵器修理材料供給ノ件通牒

海軍公報 (部内限) 第二千八百五十三號

昭和十三年三月五日

二三一

昭和十二年四月一日航本機密第六三一號首題通牒ニ左記ヲ追加ス

記 記
 供 給 先 年額
 軍 艦 那 珂 五〇圓
 同 阿武隈 四〇圓

(昭和十二年四月二日本欄参照)

○ 辭 令

福富 孝治

水路部ニ於ケル氣象海象調査事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト

ス (海軍省)

中山 龜太郎

海軍省事務ヲ囑託ス (請同)

駒橋乘組海軍技手 小川 兼三郎

水路部附ヲ命ス

<p>勝力乗組ヲ命ス 水路部附同 平田 柳市</p>	<p>駒橋乗組ヲ命ス 同 山口 清</p>	<p>(各通) 同 山口 利貞</p>	<p>勝力乗組ヲ命ス 同 關塚 良治</p>	<p>駒橋乗組ヲ命ス 同 堀江 精一</p>	<p>(各通) 通信書記 出田 宗雄 見越 幸夫</p>	<p>第一海軍軍用郵便所所員ヲ免ス(以上同)</p>	<p>○雜款</p>	<p>○旗艦變更 第一航空戰隊司令官ハ三月四日旗艦ヲ龍驤ヨリ加賀ニ變更セリ</p>	<p>○軍艦加古、最上行動豫定</p>	<p>新吳地 港名 三月七日 三月七日 十日</p>
<p>吳 十日</p>	<p>○軍艦春日行動豫定 地名 着 三月七日</p>	<p>横須賀 三月八日</p>	<p>名古屋 三月八日</p>	<p>横須賀 三月十一日</p>	<p>○郵便物發送先 吳警備戰隊司令部、軍艦加古、最上宛 三月九日迄ニ到達見込ノモノハ 山口縣新港 其ノ後ハ 吳</p>	<p>軍艦春日宛 三月十日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀郵便局留置</p>				

○艦船所在

指印ハハカフ
指定ヲ要セス

○三月五日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、▽長門▲、春日、五十鈴、高雄

呂六六▲、伊七

▽掃六、掃五、掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】▽太刀風、夕風、帆風、松風、春風、旗風、

▽夏雲、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八

【石川島】

羽風▲

【横濱】

沖島

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、▽加古、勝力、最上、大井、夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、初雪

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七二▲、伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、伊七二、伊七三、伊五五、▽呂三四、呂三三

▽雄、雁、鳩、鷺

攝津

(千歲)▲(千代田)▲

【大阪】

古鷹▲

(峯雲)▲

【神戸】

呂六四▲

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】

常磐▲

石廊▲

【因ノ島】

朝風

【江田内】

平戸、淺間

【徳山】

隱戸

【豊後水道】

矢風

【別府】

▽鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽蒼龍

▽隴、昭、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、▽白雲、薄雲、叢雲、東雲、▽睦月、卯月

▽伊六三、伊五九、伊六〇、▽伊六一、伊六二、伊六四、▽伊七〇、伊六八、伊六九

【舞鶴】

吾妻▲、八重山▲

海軍公報(部内限) 第二千八百五十三號

昭和十三年三月五日

二三三

【佐世保】

吹雪▲、口白雲(箆)▲、赤城▲、榛名、羽黒、那智、北上、▽名取、龍田▲

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、口夕風、朝風、口若葉、初霜、子日、初春、口長月、水無月、口大潮、朝潮、滿潮、荒潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、呂六一▲、呂六二▲、呂六七、呂六五、呂六三、呂六八、口伊六五、伊六六、伊六七、伊二二

敷島▲、早鞆、襟裳(伊七四)▲

【長崎】

(利根)▲、【鹿兒島灣】口陸奥、伊勢、日向、▽霧島、金剛、▽那珂、鬼怒、由良、▽川内、▽迅鯨

口夕立、五月雨、村雨、春雨、口白露、時雨、有明、夕暮、口江風、山風、海風、涼風、口伊一、伊二、伊三、口伊六、伊四、伊五、問宮

【鎮海】

口葦、榆、【羅津】口柿

【作業地】口出雲、▽天龍、▽安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、▽木曾、白鷹、口足柄、嚴島、駒橋、▽球磨

能登呂、口妙高、多摩、▽長良、▽神威、▽加賀、龍驤

栗、梅、蓮、口雷、電、響、口曉、狹霧、漣、口薄、藤、葛、口芙蓉、朝顔、刈萱、口菊月、夕月、望月、三月月、口蓼、菱、蓬、口島風、灘風、沙風、如月、彌生、口疾風、追風、文月、皐月、峯風

口伊二一、口伊二三、伊二四、伊五二、口初雁、友鶴、千鳥、真鶴、隼、口鶴、鴨、鴻

口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、▽朝日、室戸、知床、洲埼、野島、鳴戸、鶴見

【航海中】佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山へ) 神風、波風、野風 (一日大湊發—津輕海峽へ) 沖風 (一日長浦發—荒埼灣へ) 八雲 (三日横須賀發) 磐手 (三日佐世保發) 口沼風 (四日室蘭發—津輕海峽へ)

(號外七頁及二頁添)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十三年三月五日(土)

○ 令 達

官房第七〇〇三號

艦 船 數 品 類 別

昭和十三年三月一日

機關長主管

海軍大臣

管 管 計	主 主 計	本 他 合	同 自 在 螺 廻 小 大	備 品 第 一 類	長 用 計 合	給 供 中 譯 内 品	管 主 他 ル ス	備 品 第 一 類
管 管 計	主 主 計	本 他 合	同 折 尺 乙	備 品 第 十 一 類	長 用 計 合	給 供 中 譯 内 品	管 主 他 ル ス	備 品 第 十 一 類
管 管 計	主 主 計	本 他 合	半 鋼 針 金	消 耗 品 第 五 類	長 用 計 合	給 供 中 譯 内 品	管 主 他 ル ス	消 耗 品 第 五 類
管 管 計	主 主 計	本 他 合	ゴ ム 板 衛 帶	第 八 類 品	長 用 計 合	給 供 中 譯 内 品	管 主 他 ル ス	第 八 類 品
管 管 計	主 主 計	本 他 合	煉 白 鉛	第 十 二 類 品	長 用 計 合	給 供 中 譯 内 品	管 主 他 ル ス	第 十 二 類 品
事 記								

海軍公報 (部内限) 號外

母空航			艦洋巡等二					艦洋巡等一				戦線練習	艦			戦
龍驤	鳳翔	加賀、赤城	最上型	木曾、北上、大井、	球磨、多摩	内型、長良型、川	張天龍型、夕	羽那、妙高、高雄型、	葉型、古鷹型、青	比叡	金剛型	長門型	勢扶桑型、伊			
21	11	24	41	10		6		20	14	16	20	39	35			
38	35	57	25	19			25		30		32					
59	46	81	66	29		25		45	39	46	50	71	67			
16		21	16	12			16		20		22					
38	35	57	25	19			25		30		32					
9	10	20	26	5		4		9	7	11	19	29	24			
17	14	23	4	3			4		6		6					
26	24	43	30	8		7		13	11	17	25	35	30			
2		3	2			3		2		3		3				
17	14	23	4	3			4		6		6					
12	16	22	22	6		4		7	6	11	10	28	14			
13	20	11	11	9		8		11	10	15						
25	36	33	33	15		12		18	16	26	25	43	29			
2		3	2			2		2		3		3				
13	20	11	11	9		8		11	10	15						
48	49	23	27	19		15		27	22	19						
27	26	39	20	19		18		20		34						
75	62	47	47	38		33		47	42	53						
8	10	3	3	6		5		7		10						
27	26	39	20	19		18		20		34						
15	13	17	20	10		9		10		15						
2		3	2			2		2		3						
17	16	20	22	12		11		12		18						
2		3	2			2		2		3						
2		3	2			2		2		3						
133	135	202	150	149		140		156	151	159	209	205	209			
54	52	57	41	32	33	32	42	41	43							
187	259		191	181	182	172	198	197	192	202	252	248	252			
2			2			2		2		2						
54	52	57	41	32	33	32	42	41	43							

海軍公報 (部内限) 號外

海軍公報 (部内限) 號外

艦防海				艦設敷				艦母水潜				艦母機上水		艦
對馬	春日	出雲	磐手 淺間、八雲、	沖島	嚴島	勝力	白鷹、 八重山	駒橋	大鯨	韓崎	迅鯨型	神威	能登呂	蒼龍
3	11	10		14	3	2	4	3	18	2	7	8	6	32
19		23		17		10		10	25		21		19	39
22	34	33		31	13	12	14	13	43	23	28	27	25	71
12		14		8		6		6	12		12		9	
19		23		17		10		10	25		21		19	39
4		5		8	3	2		2	14		5	4	5	32
3		4		3		2		2	7	3	4		7	16
7		9		11	5	4		4	21	8	9	11	12	48
	2					1		1	2		2		2	
3		4		3		2		2	7	3	4		7	16
3		4		10		2		2	8	4	6	4	5	20
7		10		9		5		3	13	6	12	10	6	20
10		14		19		7		5	21	10	18	14	11	40
	2					1		1	2		2		2	
7		10		9		5		3	13	6	12	10	6	20
13	23	25		17	10	4		7	14	13	7	11	9	30
15		23		18		11		10	19	15	19	16	14	34
28	46	48		35	21	15		17	33	28	26	27	23	64
5		7				5		4	6	5	6		6	
15		23		18		11		10	19	15	19	16	14	34
9	10	12		8	3	2		3	5	6		8	5	15
	2					1		1	2	2		2		
11	12	14		9	4	3		4	7	8		10	7	17
	2					1		1	2	2		2		
	2					1		1	2	2		2		
129	177	180	181	110	25	23	17	35	60	100	70	35	71	150
31	41	42	41	36	26	21	14	21	39	37	42	21		74
160	218	222		146	51	44	31	56	99	137	112	56	92	224
	2					1		1	2	2		2		
31	41	42	41	36	26	21	14	21	39	37	42	21		74

海掃		水雷艇	二等驅逐艦	一等驅逐艦					砲艦						
第十五號、第十六號	第一號型			吹雪型	朝潮型	白露型	初春型	睦月型	神風型	峯風型	嵯峨	安宅	淀	鳥羽	勢多型
10	8	5	3	8			4		14	15	17	12			
		9	9	9											
10	8	14	12	17			13		14	15	17	12			
		6	6	6											
		9	9	9											
4	3	3	1	3	5	2		3		4		3			
		2	2	2			1								
4	3	5	3	5	7	3		3		4		3			
		1	1	1											
		2	2	2			1								
5	4	3	1	3			2		4	5	7	5	4		
		3	3	3											
5	4	6	4	6			5		4	5	7	5	4		
		1	1	1											
		3	3	3											
14		12	15	13					15	19	21	11	10	9	
		7	7	9											
14		19	22	22					15	19	21	11	10	9	
		3	3	4											
		7	7	9											
4		3	3	5					4		6		3		
		1	1	1											
4		4	4	6					4		6		3		
		1	1	1											
		1	1	1											
41		34	34	40					36	71		26	31	23	
		9	9	11											
41		43	43	51					36	71		26	31	23	
		1	1	1											
		9	9	11											

海軍海公(部内限)一號外

海軍公報 (部内限) 號外

艦 務 特											艇
劍 崎 型	攝 津	大 泊	間 宮	敷 島	朝 日	膠 州	室 戸 型	洲 埼	隱 知 戸 床 型	第七號、 第六號	
21	16	5	8	10	11	2		6			
25	20	9	9	14	18			9			
46	36	14	17	24	29	11		15			
12	14		5	8	12			5			
25	20		9	14	18			9			
14	8	3	4	6	6	1		3		5	
7	3		2		3	2		2			
21	11	5	6	8	9	3		5		5	
2	2		1		2			1			
7	3		2		3	2		2			
8		5	4		2			5			
13	6		3	5	6			3			
21	14	8	7		8	5		8			
2			1		2			1			
13	6		3	5	6			3			
14	35	7	15		20	6	7	16	12		
22	13		10	12	13	9		10			
36	48	17	25	27	33	15	17	26	22		
6	8		5	7	8			5			
22	13		10	12	13	9		10			
5	10	3	5	4	9	2	3	6	4		
2			1		2			1			
7	12	4	6	5	11	3	4	7	5		
2			1		2			1			
2			1		2			1			
60	48	28	45	15	48	25	27	49	35		
40	37		16	36	37			16			
100	85	44	61	51	85	41	43	65	51		
2			1		2			1			
40	37		16	36	37			16			

五

等 一	敷設艦	母潜艦水	母水上艦機	艦母空航			巡洋艦等	等 一 艦洋巡		艦 戰	別種艦	備品第一類 銃
				龍驤	加賀	鳳翔		青葉型、古鷹	妙高型、高雄、愛宕、摩耶			
神風型 (神風ヲ除ク) 陸月型 (菊月、三日月、望月、夕月ヲ除ク)	沖島	長鯨	神威	龍驤	加賀	鳳翔	長良型、川内型	青葉型、古鷹	妙高型、高雄、愛宕、摩耶	長門型	扶桑型、伊勢型、金剛型	
	二〇	六六	六四	三三	一二六	一二六	六一	八〇	九〇	一六四	一五七	本主管
	一八	三六	四六	四七	九八	一一四	八四	三一	三六	三八	五八	他主管
	三八	一〇二	一一〇	八〇	二二四	二二〇	九二	一二六	一二六	二二二	二二五	合計
												記
												事

<p>艦 逐 驅</p> <p>吹雪型(白雪、初雪、叢雲、薄雲、白雲、狹霧、漣、曉ヲ除ク) 初春型、白霧、時雨、村雨、夕立、五月雨</p>	<p>三〇</p>	<p>一八</p>	<p>四八</p>	
<p>運 用 長 主 管</p> <p>機 關 長 主 管 ヲ リ 供 給 ヲ 受 ク ル 備 品 及 消 耗 品 中</p> <p>左 記 品 名 ニ 對 ス ル 數 量 ヲ 本 號 機 關 長 主 管 ノ 部 他 主 管 ニ 供 給 ス ル 備 品、消 耗 品 內 譯 中 運 用 長 欄 ノ 數 量 ノ 通 ニ 改 ム</p>				
<p>記</p> <p>自 在 螺 廻 小 大、 鉛 仔 平、 折 尺 乙、 眞 鍮 針 針 金、</p> <p>ゴ ム 板 衛 帶、 煉 白 鉛</p>				

海軍公報 (部内限) 號外

(限 内 部)

1616

海軍公報(部内限)號外

海軍大臣官房

昭和十三年三月五日(土)

○ 令 達

官房第一〇〇四號ノ二

昭和十二年度新造雜役船ノ船種、船名、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年三月五日

海 軍 大 臣

船種	船名又ハ公稱番號	所屬	記		製造所	契約場所	竣工納期日	備考
			定數別	製造所				
曳船兼救難船 (六百噸)	波島	横須賀海軍港務部	臨時附屬	播磨造船所	横須賀工廠	昭和十三年三月二十八日		
曳船 (敷設艇型) (百五十噸)	第二〇八號	吳防備隊	同	宇品造船所	吳工廠	同 十月三十一日		
同	第二〇九號	舞鶴防備隊	同	同	舞鶴工廠	同 十二月二十四日		
交通船兼曳船 (三十噸)	第二〇〇號	霞ヶ浦海軍航空隊 安中分遣隊(假稱)	定數補充	同	霞ヶ浦航空隊	同 五月三十一日		
同	第二〇二號	大湊要港部	公稱第三一九號 代船(定數)	大湊要港部司令官(訓令) (大湊要港部工作部製造)	同	同 三月末日		

海軍公報(部内限)號外

海軍公報 (部内限) 號外

交通船兼曳船 (二十艘)	第一〇三號	吳 防 備 隊	公稱第五二二號 (定數)	鎮海要港部司令官(訓令) (鎮海要港部工作部製造)	同	昭和十三年 三月末日
魚雷運搬船 (百五十艘)	第三四號	吳 海 軍 工 廠	臨時附屬	大阪鐵工所	吳 工 廠	同 五月三十一日
重 油 船 (三百艘)	第三四號	馬 公 要 港 部	同	馬公要港部司令官(訓令) (馬公要港部工作部製造)	同	同 二月末日
同 (百五十艘)	第三四號	旅 順 要 港 部	同	旅順要港部司令官(訓令) (旅順要港部工作部製造)	同	同 十一月末日
起 重 機 船 (舉力三十噸)	第三四號	佐 世 保 海 軍 工 廠	公稱第七九八號 (定數)	石川島造船所	佐 世 保 工 廠	同 七月三十一日
同 (同)	第三四號	舞 鶴 要 港 部	公稱第七九八號 (定數)	同	舞 鶴 工 廠	同 八月三十一日
岩 碎 船 (十艘)	第三四號	橫 須 賀 海 軍 建 築 部	臨時附屬	宇品造船所	橫 須 賀 工 廠	同 五月三十一日
同 (同)	第三四號	佐 世 保 海 軍 建 築 部	同	同	佐 世 保 工 廠	同
同 (同)	第三〇號	同	同	同	同	同 九月三十日

海軍公報

(部内限) 第二千八百五十四號

海軍大臣官房

昭和十三年三月七日(月)

○ 令 達

官房第一〇八三號

昭和十三年三月五日

海軍大臣

當分ノ間主計長主管艦營需品備品暖簾甲乙半暖簾甲乙窓掛甲乙ノ材料品タル明珍織及毛織ニ「ステープル・フアイバー」交織品ヲ併用スルコトヲ得

○ 辭 令

小池 寛

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(三三〇海軍省)

(各通)

專賣局部長 花田 政春
專賣局書記 井上 英一

海軍省事務ヲ囑託ス(三三〇同)

第三艦隊司令部ニ於ケル事務囑託

金井 清

自今部内限勅任官待遇トス

黒屋 政彦

第三艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上三三〇同)

海軍大佐 岩瀬 正巳

室蘭地方ノ監督任務ニ従事スヘシ

海軍造兵大佐 近藤 勇樹

在室蘭首席監督官ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上三三〇海軍航空本部)

海軍機關大尉 松本 千春

第三課勤務ヲ命ス(三三〇海軍省軍務局)

軍令部部員陸軍砲兵中佐 稻田 正純

第一部兼同第一課勤務ヲ命ス(三三〇軍令部)

陸軍砲兵中佐 稻田 正純

參謀部第一部兼同第一課勤務ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第二千八百五十四號

昭和十三年三月七日

二三五

海軍公報(部内限) 第二千八百五十四號 昭和十三年三月七日

一三六

通信部第十一課勤務ヲ命ス
海軍中佐 柳原 増藏

(各通)

海軍大尉 大谷 藤之助
同 宮崎 新作
通信部第十課勤務ヲ命ス(以上三員大本營海軍部)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第三航空戰隊司令官ハ三月五日旗艦ヲ神威ヨリ香久丸ニ變更セリ

○ 司令砲艦變更

第一砲艦隊司令ハ三月五日司令砲艦ヲ一時廬山丸ヨリ華山丸ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦變更

第三十驅逐隊司令ハ三月六日司令驅逐艦ヲ一時陸月ヨリ卯月ニ變更セリ

○ 司令潜水艦變更

第二十四潜水隊司令ハ三月四日司令潜水艦ヲ呂號第六十三潜水艦ヨリ呂號第六十八潜水艦ニ變更セリ

○ 郵便物發送先

軍艦白鷺宛
自今

佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

○艦船所在

△印ハ「ハホ」指定ヲ要セズ

○三月七日午前十時調

【横須賀】

對馬△、愛宕△、大鯨△、夕張△、鳳翔△、山城、▽長門△、五十鈴、高雄

呂六六△、伊七

▽掃六、掃五、掃二△

富士△、尻矢△、膠州△

(飛龍)△(劍埼)△(高崎)△

【長浦】

▽大刀風、夕風、帆風、松風、春風、旗風、▽夏雲、山雲、沖風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七△、呂五九△、呂五八

【石川島】

羽風△

【横濱】

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

沖島

秋風△

【館山】

澤風△

【大湊】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡△、衣笠、青葉、長鯨△、扶桑、淀、勝力、大井、▽加古、最上、夕顔、▽若竹、吳竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽浦波、磯波、敷波、綾波、初雪

呂五一△、呂五三△、呂二六、呂二七△

呂二八、伊五一△、伊七一△、伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊七二、伊七三、▽呂三四、呂三三

▽雄、雁、鳩、鷺

攝津、隱戸

(千歲)△(千代田)△

古鷹△

(峯雲)△

【大阪】 古鷹△

【神戸】 呂六四△

【相生】 常磐△

石廊

【因ノ島】 朝風

【江田内】 平戸、淺間

【豊後水道】 矢風

【宿毛】 鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

▽阿武隈、▽蒼龍

海軍公報(部内限) 第二千八百五十四號

昭和十三年三月六日

二三七

【佐世保】

(霞) ▲

赤城▲、榛名、羽黒、那智、北上、▷名取、

龍田▲

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▷夕風、

朝風、▷若葉、初霜、子日、初春、▷長月、

▷大潮、朝潮、滿潮、荒潮、峯風

▷呂三〇▲、▷呂三一▲、▷呂三二▲、▷呂六〇▲、

▷呂六一▲、▷呂六二▲、▷呂六七、▷呂六五、

▷呂六三、▷呂六八、▷伊六五、▷伊六六、

▷伊六七、伊二二

敷島▲、早鞆

(伊七四) ▲

【長崎】(利根) ▲

【鹿児島】▷陸奥、伊勢、日向、▷霧島、金剛、▷那珂、

鬼怒、由良、▷川内、▷迅鯨

▷夕立、五月雨、村雨、春雨、▷白露、時雨、

有明、夕暮、▷江風、山風、海風、涼風、

▷伊一、伊二、伊三、▷伊六、伊四、伊五

【鎮海】▷葦、楡

【作業地】▷出雲、▷天龍、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、▷木曾、

白鷹、▷足柄、嚴島、駒橋、▷球磨、

能登呂、▷妙高、多摩、▷長良、神威、

▷加賀、龍胆、▷八雲、磐手

栗、梅、蓮、▷雷、電、響、▷曉、狹霧、

【航海中】

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山—)

伊五五 (六日吳發—伊豫灘—)

春日 (七日横須賀發—名古屋—)

柿 (七日羅津發)

漣、▷薄、藤、葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、

▷菊月、夕月、望月、三月月、▷蓼、菱、蓬、

▷島風、灘風、沙風、如月、彌生、▷疾風、

追風、文月、皐月、▷沼風、神風、波風、

野風、水無月

▷伊二一、▷伊二三、伊二四、伊五二

▷初雁、友鶴、千鳥、真鶴、隼、▷鶴、鴨、

鴻

▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八

▷朝日、室戸、知床、洲崎、野島、鳴戸、

鶴見、襟裳

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千八百五十五號

海軍大臣官房

昭和十三年三月八日(火)

○ 令 達

官房機密第一一八五號

昭和十三年三月八日
二テ未流廢止
六〇一機四

當分ノ間青島特務部員タル支那方面艦隊司令部附主計科官ヲ支那方面艦隊經費ノ分任出納官吏トス

昭和十三年三月一日

海軍大臣

○ 辭 令

海軍航空本部造兵監督官海軍少佐

香西 弓夫

東京監理官ヲ命ス

海軍艦政本部造船造兵監督官兼海軍航空本部造兵監督官兼海軍主計大佐

齋藤 胤雄

神戸監理官兼大阪監理官ヲ命ス

松川 星吾

第三艦隊ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス
但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待

遇トス

尾本 愛道

佐世保海軍病院ニ於ケル齒科治療ヲ囑託ス

但シ報酬年額八百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上請海軍省)

海軍造機大佐 坂口 礫三(艦本監)

驅逐艦朝雲審議委員ヲ命ス

海軍造機大佐 齋藤 文根

驅逐艦朝雲審議委員ヲ免ス(以上請海軍艦政本部)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第三十驅逐隊司令ハ三月七日司令驅逐艦ヲ卯月ヨリ陸月ニ變更セリ

○司令水雷艇變更

第二十一水雷隊司令ハ三月七日司令水雷艇ヲ初雁ヨリ千鳥ニ變更セリ

海軍公報(部内限) 第二千八百五十五號

昭和十三年三月八日

二三九

○特務艦鶴見行動豫定

地名	佐世保	佐世保	佐世保	佐世保	佐世保	佐世保
着	三月十七日	三月十四日	三月十四日	三月十四日	三月十四日	三月十四日
發	三月十四日	三月十三日	三月十三日	三月十三日	三月十三日	三月十三日

○特設運送船神丸行動豫定

地名	玉	吳	西	舞	大	横
着	三月十六日	三月十八日	三月二十一日	三月二十四日	三月二十四日	三月二十八日
發	三月十五日	三月十七日	三月十九日	三月二十二日	三月二十二日	三月二十六日

○特設運送船朝光丸行動豫定變更(三月四日)

地名	神	大	横	吳	笠
着	三月十六日	三月十七日	三月十九日	三月二十四日	三月二十六日
發	三月十七日	三月十七日	三月十七日	三月三十一日	三月二十六日

○郵便物發送先

特務艦鶴見宛

三月十五日迄ニ到達見込ノモノハ 其ノ後ハ 佐世保

○本日普通公報發行セズ

○艦船所在

指▲印△ハハカフ
定ヲ要セス

○三月八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、高雄

呂六六▲

□掃六、掃五、掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】□太刀風、夕風、松風、春風、旗風

呂五四▲、呂五五▲、呂五六▲、呂五七▲、呂五九▲、呂五八、□伊二三、伊二四

羽風▲

【石川島】

掃一、掃三、掃四

【横濱】

沖島

秋風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

大泊

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、勝力、大井

夕顔、□若竹、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲、呂二八、伊五一▲、伊七一▲、□伊五三、

【大阪】

古鷹▲

(峯雲)▲

【神戸】

呂六四▲

【相生】

常磐▲

【因ノ島】

石廊

【江田内】

平戸、淺間

【新湊】

□加古、最上

【宿毛】

□鳥海、摩耶、▷熊野、三隈、鈴谷、▷神通、▷阿武隈

□臘、曙、湖、□天霧、朝霧、夕霧、□白雲、薄雲、叢雲、東雲

□伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、伊六九

【舞鶴】

問宮

吾妻▲、八重山▲

吹雪▲、□白雲▲、皐月

伊五二

海軍公報(部内限)第二千八百五十五號

昭和十三年三月八日

〔佐世保〕

(轂) ▲ 赤城 ▲ 榛名、羽黒、那智、北上、龍田 ▲ 駒橋

梨 ▲ 竹 ▲ 榎 ▲ 桃 ▲ 柳 ▲ 檜 ▲ 葦 ▲ 夕風、朝風、若葉、初霜、子日、初春、長月、大潮、朝潮、満潮、荒潮、峯風

呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇 ▲ 呂六一 ▲ 呂六二 ▲ 呂六七 ▲ 呂六八 ▲ 呂六三 ▲ 伊六五、伊六七、伊二一、伊二二、敷島 ▲ 早鞆 (伊七四) ▲

〔寺島水道〕

▲ 名取

〔長崎〕

▲ (利根) ▲

〔有明灣〕 陸奥、伊勢、日向、霧島、金剛、那珂、鬼怒、由良、川内、迅鯨、蒼龍

夕立、五月雨、村雨、春雨、白露、時雨、有明、夕暮、江風、山風、海風、涼風、陸月、卯月、疾風、追風 伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五

〔鎮海〕

▲ 葦、楡

〔作業地〕 出雲、天龍、安宅、巖城、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、木曾、白鷹、足柄、嚴島、球磨、能登呂、

妙高、多摩、長良、神威、加賀、龍驤、八雲、磐手

栗、梅、蓮、雷、響、電、曉、狹霧、漣、薄、藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、菊月、夕月、望月、三月月、蓼、菱、蓬、島風、灘風、沙風、如月、彌生、文月、沼風、神風、波風、野風、水無月、伊七

千鳥、初雁、友鶴、真鶴、鶺鴒、鴨、鴻、掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八

朝日、室戸、知床、洲崎、野島、鳴戸、鶴見、襟裳

〔航海中〕

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山へ)

伊五五 (六日吳發—伊豫灘へ)

春日 (七日横須賀發—名古屋へ)

長門 (七日横須賀發—相模灘へ)

夏雲 (七日長浦發—館山へ)

山雲、帆風 (七日長浦發—東京灣へ)

沖風 (八日長浦發—下田へ)

(號外二頁添)

(限 内 部)

1626

海軍公報 (部内限) 號外

○ 令 達

海軍大臣官房

昭和十三年三月八日(火)

官房第一〇〇四號ノ三

學藝技術獎勵金ヲ以テ新造ノ雜役船ノ船種、船名、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十三年三月五日

海軍大臣

船種	船名	所屬	定數別	記		寄贈者
				製造所	事	
長官艇 (十五米)	報國第九號 (第一日本鋼管號)	佐世保海軍港 務部(第三艦隊 司令部供用)	臨時 附屬	工務 横濱ヨット 工作所	引契 渡約 場納 所入	竣工 納期 日
特型運貨船 (十三米)	報國第一一號 (第一鶴見製鐵造 船號)	佐世保防備隊	同	同	同	昭和十三年 三月二十日
同 (同)	報國第一二號 (第二鶴見製鐵造 船號)	同	同	同	同	同
曳船 (敷設艇型) (百五十噸)	報國第一三號 (北洋號)	横須賀防備隊	補充 定數	三菱 重工 會社 (横濱船渠)	同	三十 二月 二十日
						日本 鋼管 株式 會社
						鶴見 製鐵 造船 株式 會社
						日魯 漁業 株式 會社 太平 洋漁 業株 式會 社

海軍公報 (部内限) 號外

1627

海軍公報 (部内限) 號外

曳
(敷設艇型)
船
(百五十艘)

報國第一四號
(第二日本鋼管號)

吳防備隊

定數
補充

三
菱
重
工
業
會
社
(横濱船渠)

横須賀工廠

昭和十三年
十一月
三十一日

日本鋼管株式會社

海軍公報 (部内限) 第二千八百五十六號

昭和十三年三月九日(水)
海軍大臣官房

○通 牒

官房第一一五四號

昭和十三年三月九日

海 軍 次 官

關係各廳長殿

國產自動車ノ使用獎勵ニ關スル件通牒

國産品ノ使用獎勵ニ關シテハ時局ニ鑑ミ特ニ留意セラレ居ルコトト存候モ今般別紙ノ通照會ノ次第モ有之自今自動車ノ購入ハ國産車ニ限ルコトトシ特ニ之ニ據リ難キ場合ハ國産品使用取扱規程第一號書式ニ準ジ上申認許ヲ要スル義ト承知相成度

(別紙)

一三工第一七〇三號

昭和十三年二月十二日

海軍次官 山本五十六殿
商工次官 村瀬 直養

國產自動車ノ使用普及ニ關スル件

昭和十一年自動車製造事業法施行以來政府ニ於テハ本邦自動車製造事業ノ確立ト國產自動車ノ使用普及ニ努メツアル處今次ノ事變ニ際シテ國際收支ノ改善ヲ圖ル必要アルニ鑑ミ貴廳及所管官廳ニ於テ新ニ自動車ヲ購入セラルル場合ハ卒先シテ國產自動車ヲ使用セララル様特別ノ御配慮相煩度此ノ際特ニ及御依頼候也
追テ外國製中級以上ノ自動車ノ輸入ニ付テハ現在爲替ノ許可ニ關シ強度ノ制限ヲ爲スコトト相成居候右爲念申添候

軍需機密燃第三六號

昭和十三年三月八日

海軍省軍需局長

各艦隊
各鎮守府 參謀長殿
各要港部

航空機油使用區分中改正ノ件通牒

昭和十一年軍需機密燃第一三九號通牒中左ノ通改メラ

レ候

「金星發動機四型」ノ次ニ「九七式飛行艇用光發動機二型」ヲ加フ

○ 辭令

海軍主計少佐 行藤 延生
青島特務部ニ要スル經費支拂ノ爲支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(請海軍省經理局支出官)
海軍造兵大尉 巖谷 英一
技術部第一課勤務ヲ命ス(請海軍航空本部)

○ 雜款

○郵便物發送先
特務艦早鞠宛
三月 十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世保
五月二十日迄ニ 同 濱(三三三本機房)
其ノ後ハ 横須賀郵便局氣付(軍艦郵便)
追テ軍艦郵便披ノ期間ハ機密文書ノ發送ヲ嚴ニ差控ヘラレ度
佐世保郵便局氣付

○ 殘務整理

軍艦神威高雄派遣隊ノ殘務整理ハ横濱海軍航空隊内ニ於テ之ヲ行フ

○艦船所在

▲印ハ、ハホケ
指定ヲ要セズ

○三月九日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、
山城、五十鈴、高雄、沖島

呂六六▲

□掃六、掃五、掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】□大刀風、夕風、松風、春風、旗風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、□伊二三、伊二四

羽風▲

【石川島】

【横濱】 掃一、掃三、掃四

【浦賀】 秋風▲

(霞)▲

澤風▲

【館山】

【名古屋】 春日

【大湊】 大泊

【吳】 矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、
淀、勝力、大井

夕顔、□若竹、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、

□浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

呂二八、伊五一▲、伊七一▲、□伊五三、

伊五四、□伊五七、伊五六、伊五八、
攝津

(千歳)▲(千代田)▲

【大阪】 古鷹▲

(峯雲)▲

【神戸】 呂六四▲

(朝雲)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【相生】 常磐▲

石廊

【因ノ島】□朝風▲

【江田内】 平戸、淺間

【新湊】□加古、最上

□雄、鳩、鷺

【宿毛】□鳥海、摩耶、□熊野、三隈、鈴谷、□神通、

□阿武隈

□龍、曙、潮、□天霧、朝霧、夕霧、□白雲、

薄雲、叢雲、東雲

□伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、

伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、

伊六九

問宮

【舞鶴】 吾妻▲、八重山▲

吹雪▲、□白雪▲、皐月

伊五二

(掖)▲

海軍公報(部内限)第二千八百五十六號

昭和十三年三月九日

二四五

【佐世保】

赤城▲、榛名、羽黒、那智、北上、龍田▲
 駒橋、▷名取、能登呂
 梨▲、竹▲、樵▲、桃▲、柳▲、檜▲、重▲、▷夕風、
 朝風、▷若葉、初霜、子日、初春、▷大潮、
 朝潮、滿潮、荒潮、峯風
 呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六二▲、▷呂六七、呂六五、
 ▷呂六八、呂六三、▷伊六五、伊六六、
 伊六七、▷伊二一、伊二二
 敷島▲、早鞆、洲崎
 (伊七四)▲

【長崎】(利根)▲

【有明灣】▷陸奥、伊勢、日向、▷霧島、金剛、▷那珂、
 鬼怒、由良、▷川内、▷迅鯨、▷蒼龍、
 ▷八雲、磐手
 ▷夕立、五月雨、村雨、春雨、▷白露、時雨、
 有明、夕暮、▷江風、山風、海風、涼風、
 ▷陸月、卯月、▷疾風、追風
 ▷伊一、伊二、伊三、▷伊六、伊四、伊五
 鳴戸

【鎮海】▷葦、楡

【作業地】▷出雲、▷天龍、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、
 堅田、比良、保津、熱海、二見、▷木曾、
 白鷹、▷足柄、嚴島、▷球磨、▷妙高、
 多摩、▷長良、神威、▷加賀、龍驥

【航海中】

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山へ)
 伊五五 (六日吳發—伊豫灘へ)
 ▷長門 (七日横須賀發—相模灘へ)
 ▷夏雲 (七日長浦發—館山へ)
 山雲、帆風 (七日長浦發—東京灣へ)
 沖風 (八日長浦發—下田へ)
 梯 (八日清津發—鎮海へ)
 ▷伊七二、伊七三 (八日吳發—博多灣へ)
 雁 (八日江田内發—伊豫灘へ)
 隠戸 (九日吳發—徳山へ)

栗、梅、蓮、▷雷、響、電、▷曉、狹霧、
 漣、▷薄、藤、葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、
 ▷菊月、夕月、望月、三月月、▷蓼、菱、蓬、
 ▷島風、灘風、沙風、如月、彌生、文月、
 ▷沼風、神風、波風、野風、水無月、▷長月、
 伊七、▷呂三四、呂三三
 ▷千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▷鶴、鴨、鴻、
 準
 ▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
 掃一八
 ▷朝日、室戸、知床、野島、鶴見、襟裳

(辭令公報添)

海軍公報 (部内限) 第二千八百五十七號

海軍大臣官房

昭和十三年三月十日 (木)

○令達

官房機密第一一號ノ一〇

昭和十三年三月十日

海軍大臣

各鎮守府司令長官
舞鶴要港部司令官 殿

兵器簿ノ件通達

各艦船部隊、學校兵器簿砲術長主管ノ部中左記ノ通改
正ス

記

區別	類別	品名	稱數	常備數		雜記	摘要
				常用	補用		
改正	探照燈ノ部	炭 棒 二〇〇A	個		二四〇	探照燈一基ニ對スル數、但シ年額ヲ七二〇個トス	常用數ヲ扣除シ補用數設定、雜記欄記事追加
全	全	炭 棒 (一五〇A以下)	個		一六〇	探照燈一基ニ對スル數、但シ年額ヲ四八〇個トス	

○通牒

官房第一一三號ノ三

昭和十三年三月十日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國第一八六號 (成北號) 飛行機要目

發表範圍及寫眞撮影ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間概ネ左記ニ據ルコトト御

了知相成度

海軍公報 (部内限) 第二千八百五十七號

昭和十三年三月十日

二四七

一、要目發表範圍

機種 九六式艦上爆撃機
 座席 二(二人乗)
 全幅 一一・四米
 全長 九・四米
 全高 (水平) 四・四米

二、寫真(活動寫真ヲ含ム)
 要目及機構ノ詳細ヲ窺知シ得ザル方向及距離ヨリ撮影スルコト、機體ノ外貌ハ差支ナシ

艦本機密第四四九七號

昭和十三年三月十日

海軍艦政本部長

横、吳、佐海軍工廠長
 横、吳、佐海軍軍需部長 殿

九〇式無線電話機改四改造ノ件通牒

首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ

記

一、改造要領

別表記載ノ首題兵器受話機ヲ別送「九〇式無線電話機改四(無雜音式)改造要領書並改造圖面」ニ依リ無雜音式ニ改造スルモノトス

二、改造兵器

横須賀工廠	七七組
吳工廠	六九組
佐世保工廠	三五組
總計	一八一組

三、期限

昭和十四年三月末日迄時機ヲ得次第完了スルモノトス

四、費目

軍事費造船造兵及修理費造兵費修理(線)別途配付豫算内支辨トス(別表略)

艦本機密第四四九八號

昭和十三年三月十日

海軍艦政本部長

横、佐、舞海軍工廠長
 横、佐、舞海軍軍需部長 殿

九三式一號方位測定機陸上用改造ノ件通牒

首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ

記

一、改造要領

單一方向性能改善ノ爲別表記載ノ兵器ヲ別送「九三式一號方位測定機改造要領書並改造圖面」ニ依リ改造スルモノトス

一、改造兵器

改造施行廠名	九三式一號方位測定機陸上用
横廠	一〇組
佐廠	九組
舞廠	一組
總計	二〇組

一、時期

昭和十四年三月末日迄時機ヲ得次第完了スルモノトス

一、費目

軍事費造船造兵及修理費造兵費修理(空線)別途配付豫算内支辨トス
(別表略)

○辭令

海軍主計大佐 齋藤 胤雄

在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務シ兼テ在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(海軍航空本部)

在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 海軍技手 榊井 貞雄

在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上同) 同 前田 行雄

○雜款

○司令掃海艇變更

第一掃海隊司令ハ三月一日司令掃海艇ヲ第六號掃海艇ヨリ第三號掃海艇ニ變更、即日第六號掃海艇ニ復歸セリ

○司令驅逐艦變更

第五驅逐隊司令ハ三月八日司令驅逐艦ヲ朝風ヨリ松風ニ變更セリ

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○三月十日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、大鯨▲、夕張▲、鳳翔▲、山城、五十鈴、高雄、沖島

呂六六▲

□掃六、掃五、掃二▲

富士▲、尻矢▲、膠州▲

(飛龍)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

大刀風、夕風、松風、春風、旗風、沖風、山雲

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲

呂五九▲、呂五八、□伊二三、伊二四

【石川島】

羽風▲

【横濱】

掃一、掃三、掃四

【浦賀】

秋風▲

(霞)▲

【館山】

澤風▲

【名古屋】

春日

【大湊】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、衣笠、青葉、長鯨▲、扶桑、淀、勝力、大井

夕顔、□若竹、吳竹、早苗、□菊、葵、萩、浦波、磯波、敷波、綾波、初雪、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六、呂二七▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

呂六四▲

【相生】

常磐▲

【因ノ島】

石廊

【江田内】

平戸、浅間

【新湊】

□加古、最上

【徳山】

隱戸

【六連】

伊五五

【宿毛】

□鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、鈴谷、▽神通、▽阿武隈

【舞鶴】

吾妻▲、八重山▲

間宮

伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六一、伊六二、伊六四、□伊七〇、伊六八、伊六九

海軍公報(部内限) 第二千八百五十七號

昭和十三年三月十日

二五二

吹雪 ▲ 白雪 ▲ 卓月
伊五二

【佐世保】

赤城 ▲ 榛名、羽黒、那智、北上、龍田、駒橋、▷名取、能登呂

梨 ▲ 竹 ▲ 榎 ▲ 桃 ▲ 柳 ▲ 檜 ▲ 董 ▲ 夕風

朝風、▷若葉、初霜、子日、初春、▷大潮

朝潮、滿潮、荒潮、峯風、水無月

呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇 ▲

呂六一 ▲ 呂六二 ▲ 呂六七 ▲ 呂六五、

伊六五、伊六六、伊六七、伊二二、

伊二二

敷島 ▲ 早鞆、洲崎

(伊七四) ▲

【長崎】

【有利根】 ▲

【有明灣】▷陸奥、伊勢、日向、▷霧島、金剛、▷那珂、

鬼怒、由良、▷川内、▷迅鯨、▷蒼龍、

▷夕立、五月雨、村雨、春雨、▷白露、時雨、

有明、夕暮、▷江風、山風、海風、涼風、

▷睦月、卯月、▷疾風、追風

▷伊一、伊二、伊三、▷伊六、伊四、伊五

鳴戸

【鎮海】

▷葦、榆、柿

【作業地】▷出雲、▷天龍、▷安宅、嵯峨、鳥羽、勢多、

堅田、比良、保津、熱海、二見、▷木曾、

【航海中】

佐多 (二月二十八日古倫母發—徳山)

▷長門 (七日横須賀發—相模灘)

▷夏雲 (七日長浦發—館山)

帆風 (七日長浦發—東京灣)

▷八雲、磐手 (九日有明灣發—佐伯)

▷呂六八、呂六三 (九日佐世保發—港外)

白鷹、▷足柄、殿島、▷球磨、▷妙高、

多摩、▷長良、神威、▷加賀、龍驤

栗、梅、蓮、▷雷、響、電、▷曉、狹霧、

漣、▷薄、藤、葛、▷芙蓉、朝顔、刈萱、

▷菊月、夕月、望月、三月月、▷蓼、菱、蓬、

▷島風、灘風、沙風、如月、彌生、文月、

▷沼風、神風、波風、野風、▷長月

伊七、▷伊七二、伊七三、▷呂三四、呂三三

▷千鳥、初雁、友鶴、真鶴、▷鶴、鴨、鴻、

華、雁

▷掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、

掃一八

▷朝日、室戸、知床、野島、鶴見、襟裳

(號外一頁、辭令公報添)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十三年三月十日(木)
海軍大臣官房

○感 狀

感 狀

近藤海軍少將ノ指揮セシ

南京攻略遼江作戰部隊

昭和十二年十二月南京攻略作戰ニ於テ揚子江岸ノ砲臺及陣地ニ據リシ頑敵ト屢々激戦ヲ交ヘテ之ヲ制壓シツッ機雷原ヲ強行突破シ又江陰及南京下流ニ於ケル閉塞線ヲ啓開シテ急速遼江シ十二月十三日午後三時四十分南京江岸ニ進出敵唯一ノ退路ヲ遮斷シ陸軍ノ作戰ト相俟ツテ國都防衛ニ當リシ敵ノ主力ヲ殲滅シ以テ南京攻略ノ偉業ヲ成就セルハ其ノ功績顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十二年十二月十七日

支那方面艦隊司令長官 長谷川 清

感 狀

菅久海軍少佐ノ指揮セシ

木更津海軍航空隊 飛行機 隊

昭和十二年十二月四日及十二月二十一日ノ二回ニ亘リ五塞ヲ冒シ嶮峻ヲ越エ長驅蘇支航空聯絡上ノ要地蘭州ヲ強襲シ敵機三十餘機ヲ爆破撃墜シ敵ニ多大ノ脅威ヲ與ヘタルハ作戰ニ寄與セル所極メテ大ニシテ武勳顯著ナリ
仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十二年十二月三十一日

支那方面艦隊司令長官 長谷川 清